

いろいろな録音／再生機器と音の記録の進化

蓄音機のように音を機械的に録音／再生する技術はその後も進化を続け、日本で「音帶」と呼ばれるベルト状のレコードを用いた蓄音機「フィルモン」や、ビジネス用録音再生機「ディクタפון」のような製品が作られました。さらに、音声信号を電気信号に変換した後、磁性体を磁化させて記録する「磁気記録方式」が開発され、進化してきました。録音媒体として鋼線(ワイヤー)を用いた「ワイヤーレコーダー」、さらに磁気テープを用いた「テープレコーダー」が製品化されました。

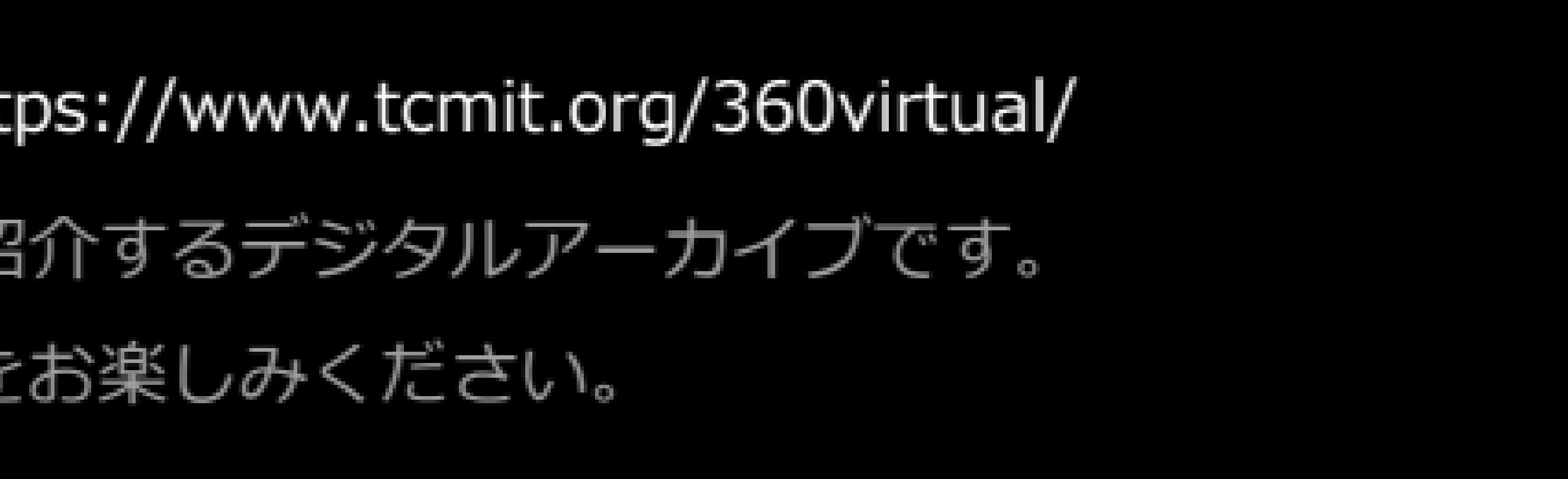
Different recordings / reproducing equipment and the evolution of recording sound

Technology to mechanically record and playback by phonograph continued to evolve. It resulted in the development of products such as "Filmon", using a belt-type record called "Ontai", and Dictaphone, recording and reproducing equipment for business use. Evolution progressed with the development of a magnetic recording system that converts sound into electric signals that are recorded onto the magnetic media. The wire recorder using steel wire as recording medium, the tape recorder using magnetic tape has been put to practical use.



PA-1
1
音帶と
フルム
同時に
いきわ
コードの
事に突入
する。

館内企画展アーカイブ
バーチャル展示室
THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



バーチャル展示室360

https://www.tcmit.org/360virtual/

トヨタ産業技術記念館

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展を紹介するデジタルアーカイブです。

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.

トヨタ産業技術記念館

https://www.tcmit.org/